

令和6年度 防災訓練報告

原山台連合自治会



2024.12.12

次第

- 原山台連合自治会の構成
- 原山台連合自治会の現状と防災課題
- 9月 自主防災訓練 報告(各自治会別)
- 11月 瀬戸市総合防災訓練 報告
- その他の取り組み
- 課題・今後の取り組み



原山台連合自治会の構成

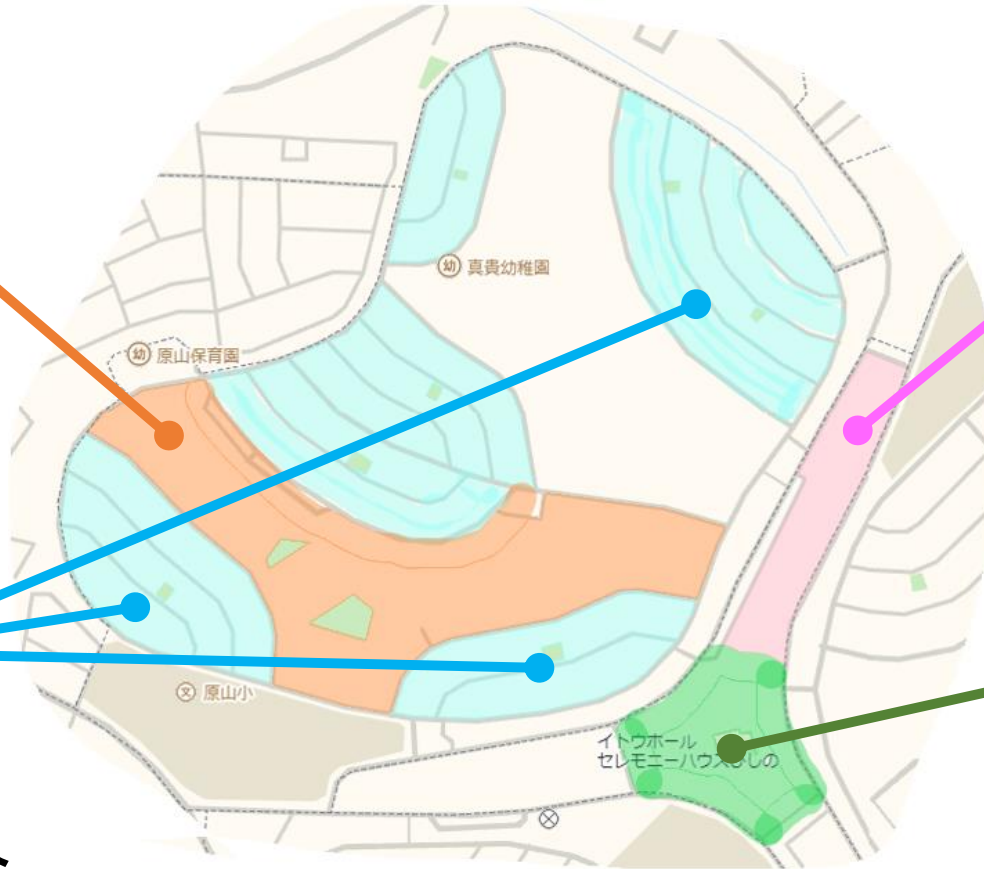
4つの地区の自治会から構成



2丁目住宅自治会
(県営住宅)



原山台分譲住宅自治会
(戸建住宅)



菱野商店街自治会
(商店街)



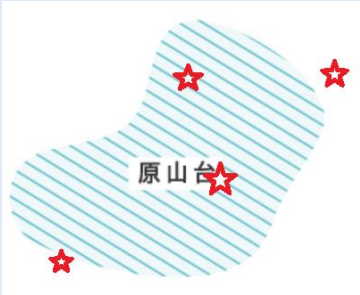
菱野住宅自治会
(供給公社)

原山連合自治会の現状と防災課題

- ✓ 住民の**高齢化**に伴う、安否確認や避難支援
- ✓ 集合住宅**高層階**の要援護者、高齢者の避難支援
- ✓ 発災時の**避難行動**の**認識不足**
- ✓ 公共施設や住宅の**老朽化**に伴う倒壊等の恐れ
- 外国籍住民への避難支援
- 商店街や菱野団地中心部施設等での住民以外の避難支援

9月 自主防災訓練 報告

テーマ:シェイクアウト訓練・安否札掲出(共通)/ 各自治会テーマに即した防災訓練(各自治会)

	原山台2丁目自治会	菱野住宅自治会	原山台分譲住宅自治会
共通	シェイクアウト訓練 ・ 安否札の出による安否確認		
自治会別	夜間防災訓練	Eバックチェア講習	① 高齢者のみ世帯の安否確認 ② 一時避難場所への一時避難
目的	地震や火災などの災害が夜間に発生した場合でも、安否札を掲出、確認できるようにする。	エレベータが使用できないような場合に、要援護者をEバックチェアを使用し安全かつ迅速に避難させる。	① 安否札を掲出していない高齢者の安否を確認する ② 一時避難場所までの安全かつ迅速な避難を行う
結果	 安否札 掲出率 61% ※イメージ図	 Eバックチェア 講習会参加率 95% ※イメージ図	 高齢者 声掛け確認 90% 一時集合場所（4 場所）

注) 菱野商店街自治会は今年度不参加

11月 瀬戸市総合防災訓練 報告①

テーマ : シェイクアウト訓練・安否札掲出 / 避難所開設訓練

時間	訓練内容
8:00 a.m.	地震発生・シェイクアウト訓練
8:10 a.m.	安否札掲出
8:15 a.m.	安否札確認・集計
8:30 a.m.	一時集合場所、または一時避難場所へ避難

11月 瀬戸市総合防災訓練 報告②

一次避難訓練



9:00 a.m.
避難所開設準備



9:10 a.m.
避難者受け入れ



9:30 a.m.
一次避難

11月 瀬戸市総合防災訓練 報告③

二次避難訓練



10:00 a.m.
テント設営



10:15 a.m.
段ボールベッド設営



10:30 a.m.
仮設トイレ設営

11月 瀬戸市総合防災訓練 報告④

講習・体験



仮設トイレの使い方講習



段ボールベッド体験



防災食炊き出し講習

その他の取り組み

愛知工業大学 野澤研究室との取り組み



防災訓練の参加



防災ワークショップ



ハザードマップ作成に
つながる危険個所の抽出

課題・今後の取り組み

課題(反省点)	今後の取り組み
市職員以外の避難所開設判断	住民が積極的に避難所の開設を行えるようにする
防災訓練目的の明確化 住民にとっては設営の説明を盛り込んだ訓練となり評価が高かったが、各担当班にとっては迅速な設営の訓練ができなかった	防災訓練の目的を明確にする ・自主防災組織の担当者が自分の役割を理解し、迅速な対応ができるような訓練を行う ・住民向けの説明会・防災訓練を別途行う
各自治会それぞれが持つ防災課題	地区防災計画を改定し、各自治会および自主防災組織ごとのアクションプランを作成する
外国籍住民への周知不足 防災訓練のお知らせが日本語表記のため、わからなかったとのことご意見があった	外国籍住民への積極的な防災訓練の声掛けと、日ごろからコミュニケーションづくりを行っていく
菱野商店街自治会の防災訓練の不参加	商店街や菱野団地中心部施設等での住民以外の避難支援できるような仕組みづくりを行っていく
防災活動における地域組織間の連携	菱野団地三台の連合自治会(八幡台・萩山台・原山台)が連携し、防災対策を協議する

ご視聴 ありがとうございます



原山台連合自治会